

















建物名 肥料新倉庫		
調査手法	調査・作業等の内容	写真
1 目視調査 ・実測調査 (続き)	⑥小屋組みの確認	
	・小屋組み全体の様子	
	⑦軸組みの確認	
	・壁側の斜材(方づえ)の様子	
	⑧軸組みの確認	
・入口拡大のために切断されたと思われる構造柱 (写真中央の2本)		
⑨腰壁コンクリートのひび割れの状況確認・計測 (建物内)		
・コンクリートのひび割れの様子(約3mm)		
⑩基礎の状況確認(外部)		
・鉄筋の露出が連続している様子 (地盤面より少し上)		











建物名 肥料新倉庫		
調査手法	調査・作業等の内容	写真
2 掘削調査	<p>○基礎の状況確認  →RC造の布基礎、フーチング有り  →基礎深さ約500mm  →フーチングの出は基礎表面から380mm</p> <p>・RC造の布基礎の様子</p>	
3 鉄筋調査	<p>○鉄筋の有無の確認  →有筋</p> <p>・配筋の様子  (白チョーク線の部分)</p>	
4 コンクリートコア 抜き取り作業	<p>①コンクリートコア 抜き取り 作業</p> <p>・コア抜き取り作業の様子</p> 	<p>・抜き取ったコンクリートコア</p> 
	<p>②コンクリートコア抜き取り後の補修作業</p> <p>・無収縮モルタルによる補修作業の様子</p> 	
	<p>③掘削後の原状回復作業</p> <p>・転圧機を用いた原状回復の様子</p> 	

建物名		1号倉庫	
調査手法	調査・作業等の内容	写 真	
1 目視調査 ・実測調査	①建物内への作業足場設置		
	・作業足場設置の様子		
	②作業足場からの小屋組みの確認、各部材の実測		
	・小屋組みの様子 ・小屋組みは腐食や湿気を含んだ状態ではない		
	③作業足場からの小屋組みの確認		
・ひび割れ(乾燥のためと思われる)が目立つ梁の様子 ・梁部で、錆が目立つボルト、ナット、座金の様子			
④作業足場からの金物等の確認			
・梁と真束の接合金物の様子 ・接合金物全体が錆びている			
⑤小屋組みの確認			
・小屋組み全体の様子 ・梁中央部が補修されている様子			



建物名	1号倉庫	
調査手法	調査・作業等の内容	写真
1 目視調査 ・実測調査 (続き)	<p>⑥小屋組みの確認</p> <p>・妻側端部の火打ち梁の様子(写真右側が妻面) ・火打ち梁は4端にしかない状況</p>	
	<p>⑦軸組みの確認</p> <p>・妻面の入口跡と軸組み(壁側)の様子</p>	
	<p>⑧軸組みの確認</p> <p>・土台、主柱、間柱の様子</p>	
	<p>⑨軸組みの確認</p> <p>・雪害等による壁面の歪み・くるいに対応するために設置された(後づけ)補強丸太の様子</p>	
	<p>⑩軸組みの確認</p> <p>・過去に長手方向の中央部に入口を新設するために、切断された構造柱の場所</p>	


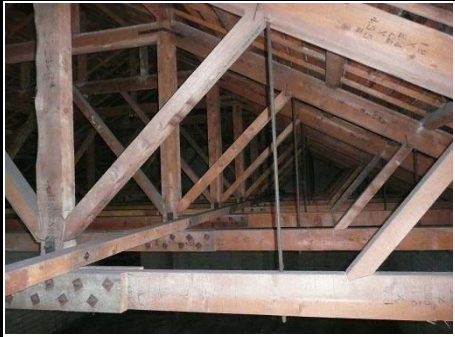
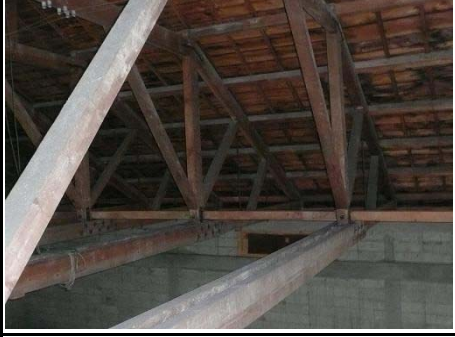


建物名	1号倉庫	
調査手法	調査・作業等の内容	写真
2 掘削調査	<p>①基礎の状況確認 →基礎相当となる「厚さ300mmのコンクリート土台(幅不明)+軟石1段分(高さ350mm)」の敷設</p> <p>・基礎相当部分の様子 (コンクリート土台+軟石1段分)</p>	
	<p>②基礎の状況確認 →コンクリート土台については、鉄筋は探査機で感知せず</p> <p>・コンクリート土台(高さ300mm)の様子</p>	
	<p>③掘削後の原状回復作業</p> <p>・転圧機を用いた原状回復の様子</p>	


建物名		2号倉庫	
調査手法	調査・作業等の内容	写 真	
1 目視調査 ・実測調査	①作業足場からの軸組み、小屋組みの確認  ※軸組みについては1号倉庫と同一仕様である (ただし、壁の補強丸太は設置していない)  ・作業足場から見た小屋組みの様子		
	②作業足場からの小屋組みの確認  ・作業足場から見た小屋組み頂点部の様子 ・頂点部の接合金物全体が錆びている		
	③作業足場からの小屋組みの確認  ・梁と真束の間の隙間(約15mm)/写真左側は接合金物 →基礎沈下の影響で、小屋組みが歪んだためと思われる		
	④作業足場からの金物等の確認  ・梁と真束部分の、接合金物、ボルト、ナット、座金の様子 ・全ての接合金物、ボルト、ナット、座金に錆がある		
	⑤軸組みの確認  ・過去に長手方向の中央部に入口を新設するために、切断された構造柱の場所		



建物名		2号倉庫	
調査手法	調査・作業等の内容	写真	
1 目視調査 ・実測調査 (続き)	⑥建物全体の状況確認  ・写真右側の建物端部(建物奥)での地盤沈下(330mmの沈下)が著しく、建物全体が歪んでいる様子		
2 掘削調査	①基礎の掘削調査  ・小型重機による基礎部の掘削		
	②基礎の状況確認 →基礎相当となる「厚さ300mmのコンクリート土台(幅不明)+軟石1段分(高さ350mm)」の敷設 →1号倉庫では軟石1段分は地中に埋まっていたが、2号倉庫では地上に出た状態である  ・基礎相当部分の様子 (コンクリート土台+軟石1段分)		
	③基礎の状況確認 →コンクリート土台については、鉄筋は探査機で感知せず  ・コンクリート土台(高さ300mm)の様子		
	④掘削後の原状回復作業  ・転圧機を用いた原状回復の様子		




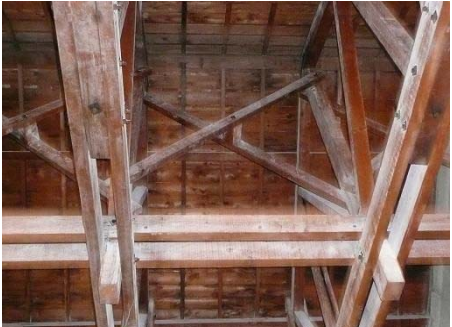



建物名		7号倉庫	
調査手法	調査・作業等の内容	写真	
1 目視調査 ・実測調査	①建物内への作業足場設置		
	・作業足場設置の様子		
	②作業足場からの小屋組みの確認、各部材の実測		
	・小屋組みの様子 ・小屋組みは腐食や湿気を含んだ状態ではない		
	③作業足場からの小屋組みの確認		
・梁と斜材(小屋方づえ)、壁際の束、斜材、振れ止めの様子			
④作業足場からの小屋組みの確認			
・母屋の一部が補修されている様子 (天井を見上げた様子)			
⑤作業足場からの金物等の確認			
・梁、束、小屋方づえ、振れ止めの様子 ・全てのボルト、ナット、座金に錆がある			

建物名		7号倉庫	
調査手法	調査・作業等の内容		写真
1 目視調査 ・実測調査 (続き)	⑥小屋組みの確認		
	・小屋組み全体の様子		
	⑦軸組みの確認		
・入口のある長手方向の様子 ・コンクリート造の柱・臥梁の様子			
⑧コンクリートブロックの寸法		横425mm×縦190mm	(現在規格は390mm×190mm)
			
2 臥梁の コンクリートコア 抜き取り作業	①臥梁のコンクリートコア抜き取り作業		
	・有筋であることを確認(白チョーク線の部分) ・配筋部分を避けたコア抜き取りの作業		
②コア(試験体)を形成しなかった臥梁のコンクリート			
・水分を含むと崩れたコンクリート →コア(試験体)を形成しない			




建物名		7号倉庫	
調査手法	調査・作業等の内容	写 真	
3 掘削調査	<p>○基礎の状況確認  →RC造の布基礎、フーチングなし  →基礎下に捨てコンなし</p> <p>・RC造の布基礎の様子</p>		
4 基礎の鉄筋調査	<p>○鉄筋の有無の確認  →有筋</p> <p>・配筋の様子  (白チョーク線の部分)</p>		
5 基礎のコンクリートコア抜き取り作業	①コンクリートコア抜き取り作業		
	②抜き取ったコンクリートコア		
	③掘削後の原状回復作業		
	・転圧機を用いた原状回復の様子		

建物名	旧澱粉工場	
調査手法	調査・作業等の内容	写 真
1 目視調査 ・実測調査	<p>①軸組み、小屋組みの確認</p> <p>・軸組み、小屋組み全体の様子</p>	
	<p>②小屋組みの確認、各部材の実測</p> <p>・小屋組み全体の様子 ・小屋組みは腐食や湿気を含んだ状態ではない</p>	
	<p>③小屋組みの確認</p> <p>・写真中央の柱が、真束(屋根の中央部) ・写真一番下の横材が大梁</p>	
	<p>④小屋組みの確認</p> <p>・写真上部の斜め材が、小屋筋交い ・写真の左右に通る横材が、振れ止め</p>	
	<p>⑤小屋組みの確認</p> <p>・壁際の火打ち梁、方づえの様子</p>	








建物名		旧澱粉工場	
調査手法	調査・作業等の内容	写真	
1 目視調査 ・実測調査 (続き)	⑥木槌によるボルト、ナット、座金の緩みの確認	 <p>・木槌による打診の様子 ・座金一部にゆるみがある</p>	
	⑦軸組みの確認	 <p>・壁側の様子 (棚の設置状況)</p>	
	⑧軸組みの確認	 <p>・建物の最高高さ部分の見上げ(様子) ・旧澱粉工場の機械設置跡の様子</p>	
	⑨軸組みの確認	 <p>・7号倉庫側の入口周辺の様子 ・汚れが目立つが、腐食や湿気を含んだ状態ではない</p>	
	⑩軸組みの確認	 <p>・階段周り、2階部分の様子</p>	

建物名 旧澱粉工場		
調査手法	調査・作業等の内容	写真
1 目視調査 ・実測調査 (続き)	①外壁、基礎の状況確認  ・傷みが激しい木羽目板貼りの外壁の様子 ・剥がれた外壁部分から、断熱材等がないことがわかる	
2 掘削調査	○基礎の掘削調査  ・小型重機による基礎部の掘削	
3 鉄筋調査、 コンクリートコア 抜き取り作業	①基礎の状況確認 →RC造の布基礎、フーチングなし →基礎下に捨てコンなし ②鉄筋の有無の確認 →有筋 ③コンクリートコア抜き取り作業  ・配筋の様子(白チョーク線の部分) ・コンクリートコア抜き取り後の様子(円筒の穴)	
	④コンクリートコア抜き取り後の補修作業  ・無収縮モルタルによる補修後の様子	
	⑤掘削後の原状回復作業  ・転圧機を用いた原状回復の様子	
















建物名		12号倉庫	
調査手法	調査・作業等の内容	写 真	
1 目視調査 ・実測調査 (続き)	⑥山形ラーメン・フレームの確認		
	・屋根を支えるブレース(斜め補強材)は、妻側端部には全面に入っているが、それ以外の部分は壁際のみである		
	⑦山形ラーメン・フレームの確認		
	・屋根を支えるブレース(斜め補強材)が入っていない様子		
	⑧鉄骨柱、筋交い(壁ブレース)の確認		
・筋交い(壁ブレース)の様子: 写真左側の斜め部材 ・筋交い(壁ブレース)は妻側の4端にしか入っていない			
⑨鉄骨柱の接合金物の確認			
・鉄骨柱と柱基礎を緊結するボルト、ナットには錆がある			
⑩外壁の状況確認			
・外壁カラートタン、水切り、腰壁コンクリート部は劣化、錆、破損が目立つ状態			



建物名	12号倉庫	
調査手法	調査・作業等の内容	写真
2 掘削調査、鉄筋調査	<p>①基礎の状況確認 →RC造の布基礎、フーチングなし →基礎下に捨てコンあり(厚さ5mm)</p> <p>②鉄筋の有無の確認 →有筋</p> <p>・RC造の布基礎の様子。配筋の様子(白チョーク線の部分) ・地盤面より上にあると思われる基礎上端筋を探查できない</p>	
3 コンクリートコア 抜き取り作業	<p>①コンクリートコア抜き取り作業</p> <p>・コア抜き取りの作業の様子</p>	
	<p>②抜き取ったコンクリートコア</p>	
	<p>③コンクリートコア抜き取り後の補修作業</p> <p>・無収縮モルタルによる補修作業の様子</p>	
	<p>④掘削後の原状回復作業</p> <p>・転圧機を用いた原状回復の様子</p>	

建物名		13号倉庫
調査手法	調査・作業等の内容	写真
1 目視調査 ・実測調査	①建物内への作業足場設置	 <p>・作業足場設置の様子</p>
	②小屋組みの確認	 <p>・小屋組み全体の様子</p>
	③作業足場からの小屋組みの確認、各部材の実測	 <p>・小屋組みの頂点部の様子 ・小屋組みは腐食や湿気を含んだ状態ではない</p>
	④作業足場からの小屋組みの確認	 <p>・小屋組みの真束、梁、斜材(小屋方づえ)の詳細</p>
	⑤作業足場からの小屋組みの確認	 <p>・吊りボルト、接合金物の様子 ・全てのボルト、ナット、座金に錆がある</p>






建物名	13号倉庫	
調査手法	調査・作業等の内容	写真
1 目視調査 ・実測調査 (続き)	<p>⑥軸組み、小屋組みの確認</p> <p>・壁際の斜材(方づえ)、火打ち梁の様子 ・壁仕上げ材があり、柱・筋交いは確認できない</p>	
	<p>⑦小屋組みの確認</p> <p>・等間隔で梁が入っている西側妻面</p> 	<p>・梁が1スパン分飛んでいる東側妻面</p> 
	<p>⑧基礎、土台の確認</p> <p>・基礎の一部に大きなズレがある(段差部にモルタル充填) ・写真左側がほぼ水平状態。右側から中央に向かって大きく沈んでいる</p>	
	<p>⑨基礎、土台の確認</p> <p>・基礎と土台の間に15~25mmの隙間がある ・隙間に木端材を入れて、高さ調整している状況</p>	
	<p>⑩外部鉄骨バットレスの状況確認</p> <p>・鉄骨バットレスと内部柱は緊結していない(バットレスは雪害等で外壁が倒れない・歪まないように後付けしたと思われる)</p>	

建物名		13号倉庫	
調査手法	調査・作業等の内容	写真	
2 掘削調査	<p>○基礎の状況確認  →RC造の布基礎、フーチングなし  →基礎下に捨てコン有り(厚さ50mm)</p> <p>・RC造の布基礎の様子</p>		
3 鉄筋調査、 コンクリートコア 抜き取り作業	<p>①鉄筋の有無の確認  →有筋  ②コンクリートコア抜き取り作業</p> <p>・配筋の様子(白チョーク線の部分)  ・コア抜き作業の様子</p>		
	③抜き取ったコンクリートコア		
	④コンクリートコア抜き取り後の補修作業	<p>・無収縮モルタルによる補修後の様子</p>	
	⑤掘削後の原状回復作業	<p>・転圧機を用いた原状回復の様子</p>	



## 地盤液状化簡易判定調査

調査手法	調査・作業等の内容	写真
<b>調査箇所</b>	<b>2号倉庫周辺</b>	
1 SWS試験、 SDS試験	①SWS試験、SDS試験の装置(全景)	
	・手前側の装置がコンピュータ制御装置(制御、データ収集等) ・奥側の装置がスクリーポイント回転貫入装置	
	②試験の様子	
③試験の様子(詳細)	・スクリーポイントを回転貫入させている様子(詳細)	
2 水位調査	○地盤の水位調査の準備	
	・敷設したパイプの中にコード(紐)状の水位計測器を入れて、水位を測定する	

調査手法	調査・作業等の内容	写真
<b>建物名 旧澱粉工場周辺</b>		
1 SWS試験、 SDS試験 (続き)	○試験の様子  ・スクリーポイントを回転貫入させて、データ収集している様子	
2 水位調査	○地盤の水位調査の準備  ・敷設したパイプの中にコード(紐)状の水位計測器を入れて、水位を測定する	
<b>建物名 13号倉庫周辺</b>		
1 SWS試験、 SDS試験	①試験の様子  ・装置の設置状況 (スクリーポイントの回転貫入終了直後の様子)	
	②スクリーポイントを地盤から引き抜いた直後の様子  ・引き抜き直後のスクリーポイントの先端部 (先端部に粘性土が付いた状態)	
2 水位調査	○地盤の水位調査の様子  ・敷設したパイプの中にコード(紐)状の水位計測器を入れて、水位測定している様子	